



2012年

「あなたの目標は？」

2012

1

あつま

NO.713

広報

# 年頭のごあいさつ



## 町民の皆さんとともに歩む 開かれた議会を目指して

厚真町議会議長

渡部 孝樹

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成24年の新春を、健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げます。温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年には国内外において様々な出来事が起こりましたが、何と言っても最初に申し上げなければならぬのは、日本の歴史に残る3月11日発生の東日本大震災であります。多くの方々が被災され、尊い人命が失われました。被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。また、この震災により国民の多くが「原子力」という言葉を再確認したことでしょう。放射能を原因とする居住地避難が今なお続き、風評被害等による様々な食生活物資の影響も日を増すことに加え、国民生活に多大な影響をもたらすとともに、観光面での影響も甚大なものであり、一日も早い復興を願うばかりであります。

また国外では、中東における国政の内紛、米国の債務下げ・欧州債務危機による国際金融市場の混乱など、未曾有の社会・経済危機に直面し、政治と社会の立て直しが叫ばれている中で、日本においても過去にない円高による経済不況や雇用の停滞など、日本経済の低迷は依然続いている状況であります。

そうした中、国政においては、第95代首相に野田佳彦氏が就任され、東日本大震災の復興など様々な課題に政府一丸となって鋭意努力されていますが、いまだ避難生活が続く救済措置もままならぬ状況であり、また、TPP問題についても、農業をはじめとする国内産業への影響など、今後



## 明るい明日を信じて 未来につながる行政運営を 町民の皆さんと協働で

厚真町長

宮坂 尚市朗

二〇一二年の輝かしい新春を迎え町民の皆さんとともに心からお慶び申し上げます。昨年三月に発生した東日本大震災によって、日本は多くの尊い人命を失い、未だ終息が見通せない東京電力福島原子力発電所破損事故との闘いを強いられています。犠牲になられた皆さんや避難を余儀なくされている多くの東北地方の皆さんに、改めて心からご冥福とお見舞いを申し上げます。また、被災地の一刻も早い復旧と被災者の皆さんが以前の穏やかな生活を取り戻し、近い将来において東北地方が豊かな地域社会として復興されることを願ってやみません。

昨年は、「絆」という漢字が世相を表す漢字に選定されましたが、文明の歩みを謙虚に反省すべき機会を与えられた年でもありました。人間は、類い稀な向上心で技術革新を繰り返して、経済発展を大義として様々な変化や犠牲を受け入れてきました。搾取やリスクに目を瞑り、利益や成長のみを追い求めた私たち自らの責任でもありますが、この度の震災は文明の如何なる進歩をもつてしても、自然の驚異を超えられないのだという警鐘となりました。

江戸時代末期の経済学者二宮尊徳は「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」と説いたそうですが、震災復興やTPP問題、国家財政の危機や地方経済の課題に真摯に向き合わなければならない今こそ、幸福度と経済成長、受益と負担、グローバルとローカルのあるべき姿を日本人は再考すべき時ではないかと思えます。

さて、本町を取り巻く情勢であります。農業においては昨年度から「農業者戸別所得補償制度」が本格運用されるなか作柄は総じて豊作となり、米の取引価格の好調と相まって明るい話題で新年を迎えておられると思います。しかし、その気分に水を差すかのように政府は、昨年秋季に環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の参加加盟国との

協議を開始するという重大な決断を行い、農業界や地方経済界に激震が走ったところでもあります。当面の対策として、昨年の十二月に町内の農業関係八団体の代表者による「厚真町TPP協定対策連絡会議」を設置し、情報の共有と本町農業の持続的発展のために必要な対応等を迅速に実行していくことで合意いたしました。

一方、公共事業の削減方向の中、安全な生活基盤と力強い生産基盤を築くために必要な厚幌ダムの建設については、事業主体である北海道の強い取り組みと町内関係団体で構成する厚幌ダム建設促進成会の取り組みもあり、本体着工に向けて大きなハードルを乗り越えることが出来ました。これもひとえに関係機関のご努力と町民の皆さんのご支援の賜と考えており、関連する勇払東部地区国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業、厚真川河川改修事業の促進と併せて厚幌ダムの早期完成に向けて引き続き最大限の努力をしてまいります。

また、少子・高齢化時代にあつて地域の活力を維持するため、様々な分野での人材育成に加えて若年世代の移住や定住を一層進めることが求められており、新たな住環境の創出としてフォーラムビレッジの開発や上厚真市街地整備計画を着実に進めるとともに、京町認定こども園の開園や児童の放課後子ども教室の試行など、子育て・教育環境の一層の充実に取り組んでまいります。

地方を取り巻く厳しい経済情勢と地方財政削減の環境下にあります。私は本町農業が国民の「命と暮らし」を守る生命産業であるという大きな誇りを持ち、豊かな自然と歩む明るい明日を信じて情勢変化と諸課題に積極果敢に取り組み、未来に繋がる行政運営を町民の皆さんと協働して進めてまいりたいと心新たにしたいと考えております。

結びに、町民の皆さんのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

ますます不安の残るところでもあります。野田首相が引用された「ドジョウがさ、金魚のまねすることねんだよなあ」という相田みつを氏の言葉があります。他人と比べなくてもお互いに意見を出し合い、協力し合う姿勢は大切です。

さて、昨年は本町においても大きな出来事がありました。幌里地区山林内での猟銃の発砲と思われる伐採作業員死亡事故、未だに容疑者の確定がなされておられませんし、「1・944日」という5年以上も続いた「交通死亡事故ゼロの日」も、残念ながら8月にその記録が途絶えた年でもありました。

このような中で、「なでしこジャパン」の大活躍や、河川敷地に転落し乗用車の中で極寒状態を救った愛犬ラブラドルレトリバー「ジュニア」の貢献など、多くの方々に夢と希望、そして感動を与えてくれた年でもあります。本町におきましても懸案でありました厚幌ダムにつきましても、関係各位をはじめ、町民皆さまの多大なるご協力のもと、ここに建設事業の継続が認められ、今後の農業をはじめとする各種産業の発展に大きく貢献するものと思えます。

厚真町議会は、昨年の改選により新たな体制をスタートしました。今後におきましても各種団体や町民の皆さまの意思を町政に反映させ、議会活動に積極的に取り組むと同時に、表題にある「町民の皆さんとともに歩む開かれた議会」を目指し、議会の活性化に向け取り組んでいく所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆さまのより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。また、議会を代表し新年のごあいさついたします。

12月15～16日

平成23年第4回定例会

# 会

# 議

平成23年第4回定例会が、12月15～16日、2日間の会期で開催されました。

## 同意

### 固定資産評価審査委員会委員に野澤政博さん(新町)を選任

平成23年12月24日で任期満了となる厚真町固定資産評価審査委員会委員に、野澤政博さん(新町)が選任されました。

## 議案

### 厚真町子ども園の設置及び管理等に関する条例の制定

次代を担う子どもたちが健やかに、そしてたくましく成長する環境を作るため、現在の京町保育園を認定こども園として運営を行うために必要な条例を制定しました。

### 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

東日本大震災の被害の甚大さに鑑み、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正が行われました。この改正により災害弔慰金の

支給対象となる遺族の範囲が拡大されたことに伴い、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正しました。

### 23年度一般会計予算56億7,555万2千円に

23年度厚真町一般会計予算は、歳入、歳出それぞれ、3,826万9千円が追加され、総額で56億7,555万2千円になりました。

【追加】

- ・インターネット維持管理事業 1,514万円
- ・認定こども園整備事業 825万7千円
- ・馬鈴薯選果場形状選別装置更新事業 880万円
- ・海岸1号線道路整備事業 2,280万円
- ・小学校校舍整備事業(上厚真小学校太陽光発電施設設置に係る設計委託) 158万4千円
- ・子ども手当システム改修事業 298万2千円

《審議された内容》

番号	件名
同意1	厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任
議案1	厚真町子ども園の設置及び管理等に関する条例の制定
2	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
3	町道路線の変更(厚南第5号線)
4	指定管理者の指定(交流促進センター)
5	平成23年度厚真町一般会計補正予算(第6号)
6	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
7	介護保険事業特別会計補正予算(保険事業勘定補正予算《第2号》、介護サービス事業勘定補正予算《第1号》)
8	平成23年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
9	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
認定1	平成22年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
2	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
3	老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
4	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
5	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
6	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
7	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
報告1	専決処分(工事請負契約の変更)の報告
2	所管事務調査報告(各常任委員会)
3	現金出納例月検査の結果報告
意見書案1	漁船用軽油にかかる軽油引取税の免税等に関する意見書
2	厚真川河川改修事業促進に関する意見書
3	環太平洋経済連携協定に反対する意見書
4	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

## 認定

### 平成22年度町各会計の歳入歳出決算を認定

決算審査特別委員会(三國和江委員長)に付託されていた平成22年度の厚真町一般会計および国民健康保険事業をはじめとする6特別会計歳入歳出決算について、委員長から報告が行われ、本会議で認定されました。

## 意見書案

### 4つの意見書案を採択し内閣総理大臣などに提出

- ・ 次の意見書案が採択され、内閣総理大臣などに提出されました。
- 漁船用軽油にかかる軽油引取税の免税等に関する意見書
- ・ 提出者 木戸議員、吉岡議員、大捕議員、下司議員、木本議員
- 厚真川河川改修事業促進に関する意見書
- ・ 提出者 右に同じ
- 環太平洋経済連携協定に反対する意見書
- ・ 提出者 右に同じ
- 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書
- ・ 提出者 今村議員、木本議員、井上議員、木戸議員、三國議員

## 宮坂町長からの行政報告

### ■農作物の作柄状況報告について

次に、農作物の作柄についてご報告いたします。

今年は、春先の天候不順など一年を通して寒暖の差や多雨・少雨の変動が大きく、畑作物やそ菜園芸作物の一部で影響を受けましたが、水稻についてはほとんど障害がなく、また、生産者のご努力により収量・品質ともに良好な作柄となり、全体的には平年をやや上回る出来秋となりました。

水稻では、農林水産省統計部および北海道農政事務所が公表した作況指数は、全国的には101の「平年並み」、北海道は105の「やや良」、胆振は107の「良」の作柄となりました。

本町では、一部で倒伏による収穫ロス等がありました。本町では、一部で倒伏による収穫ロス等がありました。本町では、一部で倒伏による収穫ロス等がありました。本町では、一部で倒伏による収穫ロス等がありました。

大豆の出荷量は、乾燥推定重量が約780トで、9月の多雨によりやや屑率が高いものの、粒径や収量はほぼ「平年並み」の作柄となりました。現在、順次、等級検査が行われていますが、スズマル等の小粒大豆は1等中心、トヨムスメ等の大粒大豆は2等中心の等級となる見込みです。

小豆は、大豆と同様に、多雨により屑率が高いものの、粒径や収量はほぼ「平年並み」の作柄となりましたが、全道的な収穫の遅れや実需者の在庫水準がやや低いことなどから、高い価格水準で販売が開始され、現在も高値を維持しています。

てん菜は、播種・移植期の降雨により作業が大幅に遅れ、その後、回復傾向にありましたが、8月の少雨による生育停滞、9月の多雨による褐斑病等の多発により、収量・糖分ともに平年を下回る見込みです。

平成24年産の秋まき小麦は、播種期の降雨により平年より5日程度作業が遅れましたが、播種後の生育は順調

で、「平年並み」となっています。

以上のとおり、一年を通して気象変動が大きく、一部の品目で影響を受けましたが、主要作物をはじめ農畜産物全体の取扱金額は計画を上回る状況と見込まれております。

■厚真町T P P協定対策連絡会議の設置について

次に、厚真町T P P協定対策連絡会議の設置についてご報告いたします。

去る11月11日、野田総理大臣は「T P P協定参加に向けて関係国との協議を開始する」と表明いたしました。

昨年11月に「包括的経済連携協定に関する基本方針」が閣議決定された以降、町議会での意見書採択をはじめ各関係機関・団体の各段において、例外なき関税撤廃を原則とするT P P交渉には参加しないよう強く求めてきたところではありますが、国民の合意がないまま、総理大臣が参加に向けた協議開始を表明したことは極めて遺憾であります。

農林水産省や北海道の影響試算では、道内の主力産業である農林水産業の産出額や雇用に対する影響は甚大であると試算されており、ひいては農村社会の崩壊にもつながりかねません。さらに、T P Pは医療・金融等の様々な分野に及び、単に経済のみならず国民生活への影響は計り知れず、引き続き、関税撤廃を原則とするT P P協定には参加しないよう、強く求めていく必要があります。

このため、北海道では、11月14日に「北海道T P P協定対策本部」を設置し、道庁全体で情報共有と今後の対応を総合的に協議する体制を構築いたしました。

本町においては、12月9日に厚真町農業振興協議会を開催し、町内の農業関係機関全体でT P Pに関する情報収集と共有化を図り、今後の対応を協議する場として、「厚真町T P P協定対策連絡会議」を設置したところであります。

今後、北海道と連携を深めて情報収集等にあたるとともに、我が国の今後の協議動向を踏まえ、新たな段階に入った場合には、町内の経済関係団体を交えた「厚真町T P P協定対策本部」に改組するなどし、本町における対策を総合的に協議していくことといたしましたので、議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 10月1日 青少年センター図書室 リニューアルオープン!!



「厚真町子ども読書活動推進計画」を作成しました。青少年センターロビーにありますので、ご覧ください。

## 厚南会館図書室

開室時間 ● 9時～17時

休室日 ● 毎月5日・20日

(厚南会館休館日)

※上記の日が土・日・祝日

の場合のみ休室

年末年始

蔵書数 ● 3,000冊

児童に通う子や上厚真地区などの住民の方がよく利用する厚南会館図書室。1階ロビーのパーコレーターで貸出の受付を行ってください。



蔵書数が豊富な青少年センターの図書室。小説や絵本の数が多いことが特長です。光が差し込む室内は、子どもたちの学習の場としても利用されています。

## 青少年センター図書室

開室時間 ● 9時～17時

● 9時～19時

休室日 ● 祝日、年末年始

蔵書数 ● 28,000冊

友だちと、お子さんと、  
行ってみませんか？ まちの図書室



## すてきな本との 出会い求めて

生きていくうえで大切なものを得ることができる本。子どもたちが「生きる力」を育むうえでも、欠かせない存在です。人生をより豊かにするため、まちの図書室をぜひご利用ください。

図書室をご利用ください

10年前と比べてみると、インターネットや携帯電話などさまざまな情報メディアの普及はめざましく、私たちを取り巻く社会は今も大きな変化を続けています。若い世代、特に子どもたちの読書離れは、今後ますます問題となってくるのかもしれません。一方で、読書が単に「情報を得る手段」としてだけでなく、「表現力」や「創造力」を身につける「感性」を豊かにするものとして注目されていることも事実で、「本を読む

子に育てたい」という保護者は少なくありません。

町内の小・中学校でも、読書活動の推進が図られています。本を読むことに抵抗のない子どもに育てるためには、まず親が本を読んでいる姿を見せること、そして幼いころから本に手が届く環境を作っておくことが必要です。そのきっかけづくりとして、親子での図書室の利用をおすすめします。

町内の2つの図書室には、合わせて約3万1千冊が所蔵されており、これらは、みなさんに利用していただくための本です。しかし昨年度の人口一人あたりの貸出点数は4.1冊。近隣の図書室（館）と比較しても、決して低い数字ではありませんが、もっと利用してほしいですね。

多くの人から利用されることによって生じる図書室。今後、みなさんの積極的な利用と、安心して集える生涯学習の拠点となるような体制づくりが求められています。

## 利用者の声



▶ リニューアルされて雰囲気が明るくなり、一段と利用しやすくなりました。好きな料理本などの実用書や雑誌なんかも充実していて、うれしいです。(佐藤啓子さん)

## オススメの一冊



「世界のあきらめない心」江橋よしのり(著) なでしこジャパンの真実が語られた密着ドキュメンタリー。

## 利用者の声



▶ リニューアルして開放的になりましたね。カウンターの仕切りがなくなり、受付の方に相談しやすいです。新刊を中心に、月2～3回利用しています。(吉岡直樹さん)

## オススメの一冊



「いきなりきのこ探り名人」井口 潔(著) シロウトによるシロウトのための実録きのこ探り入門。

## Library

Q1 一度に借りられる本の数と期間を教えてください。

厚真町の図書室では、一度に1人何冊までも借りることができます。貸出期間は本の種類を問わず「2週間」です。返却期限は、必ず守るようお願いいたします。

Q2 図書室は誰でも無料で利用することができるのですか？

誰でもご利用いただけます。図書室の利用および貸し出しは無料です。本を借りる場合、利用者登録が必要ですので、カウンターにお申し込みください。登録が完了したら、「利用者カード」をお渡します。即日利用OKです。

新刊や話題の本が早い段階で入荷！  
リクエストもOKですよ

## 「図書室」と図書館

← 道内の自治体では約55%だそうです。

「図書館」には「図書館法」が適用され、充実したサービスを行う環境が整えられますが「図書室」にはそれがありません。教育委員会では、図書室職員1人を配置して利用者の満足度向上に努めています。

図書室管理 春木友里さん



▶ 青少年センターの図書室がリニューアルされて、明るく開放的になったと喜ばれています。

特集 “本のある生活のススメ”

癒しのひとときをあなたに…



大きな愛情で包んでくれるパパやママのひざの上は、赤ちゃんの特等席。肌のぬくもりを感じながら優しい肉声を聞くことで、温かな心をはぐくみます。

利用者の声



▶リニューアル後、月間の「展示コーナー」ができて、さらに見やすくなりました。本をゆっくり選べますね。僕は昔から、司馬遼太郎の大ファンです。(宮久史さん)

オススメの一冊



「カインの末裔」  
有島武郎(著)  
大正6年に発表された短編小説。舞台は日本。

利用者の声



▶リニューアルして、とってもいいですね。室内全体が明るくなって、子どもの本が見やすくなったと思います。私は、小説や料理本をよく借ります。(真野友美さん)

オススメの一冊



「キッチン」  
吉本ばなな(著)  
世界各国で読みつかれるベスト・セラー小説。

本との出会い  
Bookstart



ふるさとの昔話、どうでしたか？戦前の大家族時代には、子どもたちは祖父母の昔話を聞きながら育ちました。しかし現在は核家族化が進み、子どもたちへの言葉かけも不足しがち。そんな中、親子のふれあいのきっかけになるのが「ブックスタート」です。

## 本の魅力とその可能性を探る



「ブックスタートで絵本に触れる3～6カ月の赤ちゃんたち。まだ言葉の意味は分からなくても、絵に興味を示したり、読み手の顔を見ながら、その声に聞き入ったりする様子が見られました。

### 表現力を身につける

「おはなしのびっ子」のメンバーの荒木裕子さん(新町)に、読み聞かせやブックスタートの活動をお話しての思いについて、お話しを聞いてみました。



「子どもの周囲の大人たちは、常に「言葉を吸収されている感覚」を持つてほしいと思います。だから、子どもには優しい言葉をかけることが必要なんですよ」と荒木さん。また、言葉掛けによって、まだしゃべることのできない赤ちゃんは「言葉の貯金」をしているのだともいいます。

「言葉は、表現力を高めるためにとても重要。自分の感情をうまく言葉で表現できないと、将来的にキレたり、暴力をふるったりでしか感情を表現せなくなってしまう」。小学校でも、読み聞かせを行っている荒木さんは「子どもたちは、本当は素直に感情を出したいという気持ちを持っているので、絵本を読むことでそれを引き出したいですね」と話します。

「子どもでも大人でも、本の内容が今の自分の状況にピタッとハマり、気づきにつながる時があります。何か得られればと思いき、読み聞かせの時は、そこに込められたメッセージが伝わるよう、感情を込めて読んでいます」と荒木さん。

### 絵本をおとして心通わす

「子どもが小さいうちは、何を話し掛けていいのか分からず、話し掛けても独り言のように取り入れられず、子どもは言葉が見つめたり、時には笑ったりする

「子どもが小さいうちは、何を話し掛けていいのか分からず、話し掛けても独り言のように取り入れられず、子どもは言葉が見つめたり、時には笑ったりする

### 「ブックスタート」は3～6カ月児健診で！

次回の日程 平成24年2月1日(日)  
時間 対象者には個人通知します  
場所 総合ケアセンター「ゆくり」  
1F 健康増進室  
問 厚真町教育委員会社会教育グループ  
☎27-2495

本年度はこの2冊をお渡ししています！



# 平成24年度認定こども園「いづも園つみき」の園児募集

保育園に幼稚園機能を付加した認定こども園の運営が、平成24年度からスタートします。この認定こども園は、3歳未満は保育園と同じく入園要件がありますが、3歳以上のお子さんについては、すべての入園が可能となります。

ここでは、認定こども園の運営概要を紹介します。4月から認定こども園入園を希望する児童の保護者は、期日までにお申し込みください。



## 設置目的

全国には、就学前児童の施設として主に保育所、幼稚園、認定こども園があります。本町には幼稚園がないことから、厚真市街地にある京町保育園を増築し、保育所に幼稚園機能を持たせた認定こども園の整備を進めてきました。

子育て支援の中核的施設であるこの認定こども園で、次代を担う子どもたちが健やかに学び、のびのびと遊び、たくましく成長してほしいものです。

## 施設の名称

認定こども園の名称を「こども園つみき」と名付けました。積み木は子どもにとって大切な遊び道具の一つでありますが、学習教材と遊び道具（おもちゃ）の両面を併せ持っている物といわれています。積み木で遊びながら表現力や創造力、好奇心が養われるということから、幼児教育の中では発想力、創造力を上手に育てる知的玩具とされています。

## 2つの保育

こども園には、これまでの京町保育園と同様に保育する「長時間保育」と、3〜5歳児なら保育園入園要件を満たさなくても入園できる「短時間保育」の2つがあります。この「長時間保育」と「短時間保育」を分けて説明します。

### その1 長時間保育

「これまで京町保育園と同じ入園資格」

入園できる児童は、6カ月児から就学前までですが、両親のいずれもが次のいずれかの事情にある場合です。

- ①保護者が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合
- ②保護者が家庭で児童と離れて日

常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合

③親が出産前後、病氣、負傷、心身に障がいがあったりするので、その児童の保育ができない場合

④その児童の家庭に長期にわたる病人や心身に障がいのある人がいるため、親がいつもその看護にあたっており、その児童が保育ができない場合

⑤火災や風水害、地震などの不幸があり、その家屋を失ったり破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合

※そのほかの事情で入園を希望する場合は、お問い合わせください。

【保育時間】

保護者の送迎時刻を考慮し、延長を含めた閉所時刻をこれまでより30分延長します。

- 基本保育時間  
午前8時〜午後6時
- 延長保育時間  
午前7時30分〜午前8時、午後6時〜午後6時30分
- 最大保育時間  
午前7時30分〜午後6時30分



【保育料】

現在の京町保育園は、3歳以上児は主食持参でした。こども園では、3歳以上児の給食は学校給食センターから主食も含めて搬入され、これによりすべての園児が完全給食となります。

この給食代を含めた月額保育料を次のように改定しました。

■長時間保育の月額保育料 単位:円

現 行				改 定							
階層区分		3歳未満児	3歳児	4歳以上児	階層区分		3歳未満児	3歳以上児			
A	生活保護世帯	0	0	0	1	生活保護世帯	0	0			
B	非課税世帯	8,000	6,000	6,000	2	非課税世帯	6,000	5,000			
C1	町民税均等割世帯	17,000	14,000	14,000	3	町民税課税世帯	14,600	12,300			
C2	所得割5,000円未満世帯	17,750	14,750	14,750							
C3	所得割5,000円以上世帯	19,500	16,500	16,500							
D1	8,500円未満	22,750	19,750	19,750	4	40,000円未満	20,000	18,000			
D2	8,500円〜17,000円未満	26,000	23,000	23,000							
D3	17,000円〜38,000円未満	26,660	23,660	23,660							
D4	38,000円〜59,000円未満	28,330	25,330	25,330							
D5	所得割課税世帯 59,000円〜80,000円未満	30,000	27,000	27,000	5	40,000円〜103,000円未満	29,600	25,600			
D6	80,000円〜110,000円未満	35,000	33,000	32,410							
D7	110,000円〜140,000円未満	40,000			6	103,000円〜413,000円未満	40,600				
D8	140,000円〜170,000円未満	42,250									
D9	170,000円〜200,000円未満	44,500									
D10	200,000円〜355,000円未満	50,750									
D11	355,000円〜510,000円未満	57,000			7	413,000円〜734,000円未満					
D12	510,000円以上	65,420									
①2人目の児童				月額保育料×1/3		①2人目の児童				月額保育料×1/3	
②3人目以降の児童				月額保育料×1/10		②3人目以降の児童				0円	
③月の保育日数が15日未満の場合				月額保育料×2/3		③正当な事由があつて月の保育日数が15日未満の場合				月額保育料×2/3	

## 子育て支援による保育料還元制度

保護者の保育料負担軽減措置として、「長時間保育」「短時間保育」とも保護者の申請により、月額保育料の1割を子育て支援金券の交付の方法により還元する予定です。この金券は、町内の商店での買い物などに利用できます。

## 休園日

「長時間保育」「短時間保育」とも日曜日、国民の祝日、12月31日〜1月5日です。

## 保育の主な内容

こども園は、健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域の教育とが一体となった保育を進め、健やかな子どもの育ちを支えて豊かな人間性の育成を目指します。

①保育方針

「遊びの中で、やる気と知恵と心

## 申し込み

◆申し込み期間  
1月10日（火）〜2月3日（金）

◆提出書類  
入園申請書、雇用証明書（以上は、役場町民福祉課子育て支援グループと役場上厚真支所にあります）、印鑑、給与所得者は前年の源泉徴収票

※平成23年度京町保育園を利用されていた園児の面接調査は、入園申請後に京町保育園で行います。

◆申し込み先・問い合わせ先  
役場町民福祉課 子育て支援グループ / 総合ケアセンター ゆくり内 ☎26-7872

## 「こども園つみき」の説明会を開催します

◆日時 1月11日（水）午後6時

◆場所 総合ケアセンター「ゆくり」 介護学習室（2階）

◆対象 認定こども園の説明を受けていない保護者

◆その他 当日、託児所を設けます。1月10日（火）までに児童の氏名と年齢をお聞かせください。

◆連絡先・問い合わせ先 役場町民福祉課 子育て支援グループ ☎26-7872

あなたにとっての2011年は、どんな年でしたか？

# みのり 農の里2011

## 富野小・軽舞小で閉校式

平成23年3月末で閉校を迎える富野小学校・軽舞小学校の閉校式が、それぞれの校舎で開かれました。同窓生や在校生、関係者などが出席し、富野小では「ハンドベル演奏」、軽舞小では「花火太鼓」を児童全員で力いっぱい披露。その他、学校生活を振り返った呼びかけも行いました。両校共に100年を超える歴史と伝統に別れを告げました。  
〔2月20日・27日〕



## お茶会ミーティング開催

町内在住女性と宮坂町長が自由討論で語り合う「お茶会ミーティング」が、総合福祉センターで行われました。参加した22人の女性、キーキやお茶を楽しみながら、日ごろ感じている子育てや学校教育、福祉についての疑問や意見を投げかけました。予定時間を越えるほどの盛り上がりを見せ、それぞれの町を思う気持ちが言葉に滲み出ていました。  
〔7月21日〕



## 「厚幌ダム再検証」地域代表者会議

ダムに頼らない治水を掲げる国の要請に応じて、厚幌ダム建設を再検証する「厚幌ダム建設地域代表者会議」が昨年12月から3回にわたって行われ、コストや環境面、安全性などを総合的に考慮し、現行のダム建設を最善とする結論を満場一致で承認しました。宮坂町長は「厚幌ダムは町民の悲願。この結論に安堵している」と話していました。  
〔4月14日〕

## 古民家再生推進協議会発足 官民学連携で活用を検討

町が古民家活用で新たな魅力を模索する目的で、官民学連携の「古民家再生推進協議会」が発足しました。町には、多くの古民家が残り、所有者の高齢化が進む中で保存はもとより、グリーンツーリズムや移住施策などでの活用方法も検討していきます。  
〔7月26日〕



福島県の子ども達を夏休みの期間、北海道に招く「ふくしまキッズ夏季林間学校」の参加者約80人が本町を訪れました。イモ掘りやバーベキューなど北海道ならではの多彩な企画に、福島県の子も笑顔を見せました。〔8月4日〕



## 厚真町商工会 「設立50周年記念式典」

厚真町商工会法制化設立50周年記念式典が10月23日、総合福祉センターで行われ、町内外から約100人が出席しました。式典では、歴代会長・役員への感謝状の贈呈、祝賀会では、オール厚真産の料理が振舞われ、来場者の目や舌を魅了するなど、半世紀の節目を祝いました。  
〔10月23日〕



## 文化講演 会が11月16日、総合福祉センター

東北楽天イーグルス名譽監督の野村克也さんが野球人生を振り返り、栄光に隠された秘話を披露。野村節に500人の来場者は笑いに包まれました。〔11月16日〕



## 主な出来事つづり

1月	上厚真市街地で厚真消防団と消防署厚真支署の合同出初め式(6日)、成人者42人が出席し第63回町成人式を挙行(10日)、第4回あつま国際雪上3本引き大会(23日)
2月	スターフェスタ2011「第12回冬の花火大会・『卯』の干支文字焼き」がこぶしの湯あつま周辺、2011光のページェント「第11回ランタン祭り」が本郷地区で行われる(3日)、スタードームで室内ソフトボール大会(14~17日)
3月	「地域メニューを考える試食会」開催(2日)、平成23年第1回定例町議会が開会(9日)、「食の工夫展」JAとまこまい広域女性部厚真支部が総合福祉センターで開催(17日)
4月	少女民謡ユニット「み・せ・た」、総合福祉センターで約250人を前に活動報告会(2日)、ライオンズクラブが上厚真に今年も100匹のこいのぼりを掲揚(19日~)
5月	町土地改良区による厚真ダム水神宮での取水式が行われる(9日)、幌内オニキシベの沢の町有地で、木炭販売に携わる人たちなど約50人が、ミズナラの苗木を植樹(27日)
6月	地域おこし協力隊第1号の小林廉さんに委嘱状交付(1日)、平成23年第2回定例町議会が開会(7日)、第39回田舎まつり前夜祭・本祭が表町公園周辺で開催(18~19日)
7月	昨年に引き続きATV(4輪バギー)の全日本大会が浜厚真オフロードパークでバトルを展開(18日)、第28回あつま海浜まつりが浜厚真海岸で開催(31日)
8月	ふくしまキッズ夏季林間学校の参加者約80人が来町(4日)、第11回集まりンピック(第46回町民体育祭)がかしわ公園野球場で開催(21日)、町戦没者追悼式がおごそかに総合福祉センターで挙行(30日)
9月	平成23年第3回定例町議会が開会(8日)、町敬老会が総合福祉センターで開催。シルバー264人が出席(17日)あつま交通安全町民の集いが中央小で開催(22日)
10月	第12回健康ふれあいマラソン大会で170人が完走(10日)、常滑焼の歴史的価値を共有する特別講演会「中世の北方世界」を開催(15日)
11月	町文化祭が総合福祉センター、厚南会館などを会場に行われる(3~4日)、プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルス名譽監督野村克也さんの講演会を開催(16日)
12月	恒例の歳末チャリティー不用品即売会・演芸大会が総合福祉センターで開催(1日)、交通安全・防犯町民集いが総合福祉センターで行われる(12日)、平成23年第4回定例町議会が開会(15日)

協働のまちづくりは、町民のみなさん一人ひとりが“主役”です。

豊かで美しい自然、人と人とのふれあいを大切にするまちを目指して...



# 12月のまちの話題

## 講神仁助さん(幌内)が 森林コンクールで最優秀賞

平成23年度ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクールで、幌内の講神仁助さん(84)が、カラマツの部で最優秀賞を受賞しました。12月7日、役場町長室で表彰式が行われ、胆振総合振興局浅沼森林室長から表彰されました。

講神さんが山づくりを始めたのは26歳の時。苫小牧でサラリーマンとして働いていましたが、そのころ亡くなった兄の意思を継ぎ、森づくりに情熱を注ぐことを決意。今回の表彰の対象となったのは、0・84歳の林齢32年生のカラマツ。これまで講神さん自ら、下刈り、つる切り、除伐、枝打ち、間伐などの保管理を行ってききました。このような地域の模範となる森林施業を行い、多くの森林所有者の指標となっていることなども高く評価され、受賞の対象となりました。

宮坂町長は「森林を守り、育てることが大切な中で、講神さんが表彰されたことは大変誇りに思います。これからも森づくりに精進してください」と講神さんの一層の活躍にエールを送っていました。



最優秀賞の受賞に笑顔の講神仁助さん(中央)

## みんな笑顔でタイ料理囲み 今年も「食」で異文化交流

厚真町国際交流協会(館山齋会長)の異文化交流事業が12月2日、総合ケアセンターゆくりで開かれました。講師に苫小牧駒澤大学の海外留学生などを招き、トムヤムクンやタイ風おしるこを作って、「味の文化」を学びました。「スパイシーな味わいのタイ料理に挑戦」と題して開催。同大学の金内花枝准教授のほか、タイ、中国の海外留学生6人が訪れ、町内の主婦21人が参加しました。金内准教授が味の文化について講演し、「うま味と香りが特徴のタイ料理は、味の文化と言ってふさわしい」と紹介。さらに、「日ごろ食べない他国の食文化に触れることで、国際感覚豊かになる」とも。料理の講師を引き受けた留学生、タイ出身のワスアナクン・アピッサダーさん(3年)は流ちょうな日本語で、「ハーブの香りと4つの味『酸味・辛味・甘味・塩味』がタイ料理には凝縮されている。どのうま味を強くするかは、自分の好みで調整して」と話していました。出来た料理を食べた参加者は、「ピリッと辛い」と言いながらも、笑顔でタイ料理を堪能していました。



タイ料理づくりに挑戦する参加者



## 厚南中学生と苫駒大留学生が交流

苫小牧駒澤大学の海外留学生8人が厚南中(及川信道校長)を訪れ、子どもたちと交流しました。これは国際理解教育の一環。全校集会で子どもたちと対面した8人は自己紹介をし、その後8グループに分かれ、質問付きのすごろくゲームを楽しみました。「日本の好きなアイドルは?」「AKBのOOちゃん」などと答え、その場は大盛り上がり。初めは緊張気味だった留学生からも、最後は笑顔がこぼれていました。

## 地域の防災に「女性消防団が防火査察

女性消防団では、恒例の防火査察を厚真・厚南地区において11月19日、26日、12月3日と3回に分けて行いました。防火査察は、緊急通報システムを設置している独居老人宅などを訪問し、防火啓発、高齢者の健康状況を確認する他、交流を図ることが目的。12月3日、町消防職員とともに7人の女性消防団員が同行。表町地区の査察を行った宮崎班長は「何かあったら相談してくださいね」と呼びかけていました。



## 町民吹奏楽団から ステキな音楽のプレゼント♪

町民吹奏楽団(松下一彦代表)が12月3日、みつば保育園(佐藤泰夫園長)を訪れ、同団が奏でる音楽、少し早めのクリスマスプレゼントを園児たちと保護者は楽しんでいました。

同園を訪問するのは今年で5回目。園児が大好きなアンパンマンやちびまる子ちゃんのアニメソングを中心に6曲を演奏。園内いっばいに響き渡る楽器の音色に園児たちも手拍子やダンスで応えていました。途中、クリスマスソングメドレーが流れる中、保護者が扮するサンタとトナカイが登場する粋なはからいもあり、園児たちは笑顔を見せていました。



アニメソングに合わせて園児がダンス



## 資源を有効活用 不用品即売会に行列

町コミュニティ運動推進協議会(松井満夫会長)が主催する「歳末チャリティー不用品即売会」が12月1日、総合福祉センターで行われ、衣料品や家庭用品などが新オーナーのもとに引き取られていきました。ほとんどの物が50円から100円で販売され、中には新品の物もあり、開店前から行列ができる人気ぶり。今回の売り上げの5万5、250円は、社会福祉協議会に贈呈されました。



## 北海道コカ・コーラ 飲料水を社会福祉協議会へ

町と災害協定を結ぶ北海道コカ・コーラボトリング株式会社(札幌市)が社会福祉協議会に、クリスマスプレゼントとして飲料水492本(71、400円分)を寄贈しました。これは同社の社会貢献活動の一環によるもの。12月13日、贈呈式が総合ケアセンターゆくりで行われ、谷藤秀次所長から松平功会長へ目録が手渡されました。寄付された品目は、町内の福祉施設へ配布されました。



## 多彩な芸の数々 渾身のステージに拍手喝采

歳末恒例の町婦人団体協議会(藤本昭子会長)による第35回歳末助け合いチャリティー演芸大会が12月1日、総合福祉センターで行われました。個人や団体が1年間練習を積み重ねてきた演芸に対し、会場に足を運んだ町民から拍手と喝采がおくられていました。役場新人職員の宮久史さん、大岸葉子さん、高島美奈さんの3人が、かつて一世を風靡した「マツケンサンバ」を披露。小気味よく息のあった歌声とダンスで大いに会場を沸かせました。このイベントの益金は、社会福祉協議会に寄付されました。



夢を持つ大切さを語る植松努さん

## カムイロケットの植松努さん講演会

町PTA連合会（佐々木浩会長）主催の講演会が12月6日、総合福祉センターで行われ、一般町民や教職員など約80人が参加しました。

講師に、㈱植松電機専務取締役の植松努さんを招き、「思うは招く～夢があればなんでもできる～」と題して講演。大学を卒業後、幼少の頃からの飛行機好きが高じて航空設計の会社に入社。その5年後、父親が経営する赤平市の植松電機へ。自らのロケット研究や宇宙開発へのチャレンジを例に植松さんは「本当の夢に気づき、諦めなければ願いは叶う」と話し、「始めからど～せ無理という考えはやめて」と訴えていました。

## 「ミニバレー」冬リーグで熱戦展開

町教育委員会が主催する第20回ミニバレーウィンターリーグがスポーツセンターで12月5日に開幕し、3日間にわたり熱戦が繰り広げられました。今大会は23チーム152人が参加。開会式で兵頭利彦教育長があいさつし、「ケガなく優勝に向かって頑張る」と呼びかけました。

開幕から各コートで熱戦を展開し、試合の合間には参加チーム同士が和やかに交流を深めていました。[成績は次のとおり]

- ・Aリーグ優勝「荒波突破A」 準優勝「荒波突破B」
- ・Bリーグ優勝「マーボーゴールド」 準優勝「まあ～何とかなるさ」



白熱した試合が繰り広げられる



ガラス破壊実演で窓の防犯レベルを再確認

## 明るい師走を。交通安全・防犯町民集会

町や町交通安全推進委員会などによる平成23年度交通安全・防犯町民集会が12月12日、総合福祉センターで自治会や事業所、関係団体などから約80人が参加し行われました。町交通安全推進委員会会長の宮坂町長が「歳末は交通事故や犯罪が多発する時期。改めて気を引き締めて」と挨拶。集会では今年の交通事故や犯罪情勢などについて、苫小牧警察署中野交通課長と同署東生活安全課長、進栄ロックサービス㈱高橋係長を講師に迎えて3部構成で講演。中野課長は「今後は冬型の事故が多くなる。いつ滑るかわからない。常に心の準備をして」と訴えていました。

## 厚真福祉会でメリークリスマス♪

社会福祉法人北海道厚真福祉会（岩筋雅弘理事長）のリハビリセンターと豊厚園のクリスマス会が12月14・15日の両日、同施設で行われました。14日に行われた同センターのクリスマス会では、岩筋理事長が「今日は施設に入居されている方が、1年のうちで1番楽しみにしている行事。おいしいご馳走を味わいながら楽しいひと時を過ごしてください。『メリークリスマス』とあいさつ。ツリーや電飾が施された華やかな雰囲気の中、入居者の皆さんはテーブルいっぱいのごちそうを頬張り、演芸ボランティアの方々によるアトラクションを楽しんでいました。



ステージではアトラクションがにぎやかに



完成した「しめ縄」を手に記念撮影

## “しめ縄づくり”京町園児が挑戦

京町保育園（高田芳和園長）で12月21日、昔ながらのしめ縄作りが行われ、年長組園児が挑戦しました。収穫した稲わらを編み、直径10センチのかわいらしいしめ縄を製作。1年間の稲作を体験した園児に、稲わらも捨てずに利用する、昔ながらの文化を伝えようとの試み。室内にブルーシートを敷き、園児たちは座り込んで作業しました。干した稲わらを足で押さえ、力いっぱいぐるぐる絞って束に。ボランティアの方などの作業を見ながら、真ん丸の輪に縛って仕上げました。江川京珠ちゃんは「ねじるところが大変だったけど上手にできたよ」と話していました。

## 僕らが目指すは「ナンバー」 厚中1年生17人が雑誌づくりに挑戦！

厚真中（工藤弘校長）の1年生17人が総合学習の時間で、生徒各自が興味を抱いた町民を取材し雑誌を製作する授業に取り組んでいます。

担任の柳本教諭が愛読の人物像に深く迫るスポーツ総合雑誌、「ナンバー」を参考。大人との1対1の取材を通じて、コミュニケーション能力などを身につけてもらおうと企画。11月から、ハスカップ農家や町内のサーファーなど計17人への取材が始まりました。飯尾真子さんは、こぶしの湯あつまの酒井支配人を11月30日に取材。こぶしの湯に勤めた経緯を聞き、「接客業の魅力は？」などと質問。取材後は「緊張しました。頑張るって記事にします」と話していました。生徒1人が写真付きの1ページを担当。年内に全員が取材を終え、来年3月の完成を目指します。



初々しい様子で取材する厚中1年生

## 上厚真小5年生がテレビ放送を学習

NHK室蘭放送局による出前授業が12月1日、上厚真小学校（油谷諭校長）で行われました。この日は5年生を対象に、テレビ放送用のカメラで撮影したり、カメラ前に立ちマイクを握ってレポートなどを体験。

同校体育館に同局の放送用の機材などが運ばれ、外には中継車も用意し即席のテレビスタジオに。5つのグループに分かれた児童は、実際にカメラを肩に担いで撮影した他、レポーター役は友だちが構えるカメラに向かって将来の夢を発表していました。児童たちは、カメラで撮影した映像がテレビに映るまでの流れと情報を伝える大切さを学びました。



放送用カメラで撮影する上厚真小児童



初会合であいさつする宮坂町長

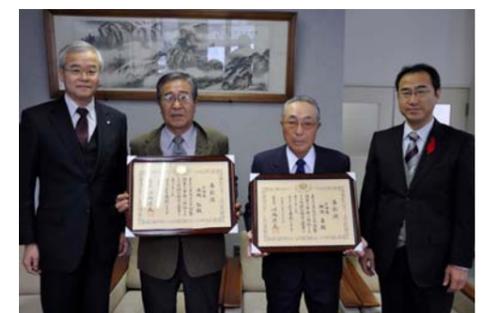
## 町などがTPP協定対策連絡会議を発足

環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加に向けて関係国との協議方針を表明したことから、町は農業関係団体などとともに「TPP協定対策連絡会議」を発足しました。同会議はTPP参加反対の立場をとり対応を協議していく考え。農業分野だけでなく、商工分野などへの幅広い影響が懸念されることから、今後は組織構成の拡大も視野に入れていきます。初会合の12月9日、JA厚真支所で開催され、町やJAなど8機関で構成。会長に就任した宮坂町長は「町の基幹産業である農業に痛手が及ばないように、スピード感を持って対応していく」と話していました。

## 新保さん・赤坂さんが統計功績者表彰

幌内の新保勇さん(83)、幌里の赤坂弘さん(74)は総務省の平成23年度統計功績者表彰に選ばれ、12月7日に役場町長室で伝達を受けました。

新保さん、赤坂さんともに昭和45年～平成22年までの40年間、国勢調査の調査員を9回にわたって務め、毎回期限内に審査・整理して調査票を提出し、記載内容も正確で優秀だったことが評価されました。胆振総合振興局坂口地域政策部長から表彰状を手渡された2人は、「車がない時代は歩いて回り大変だった。今回の受賞については、思いもなかったものでびっくりしていますが、大変光栄です」と笑顔で話していました。



受賞を喜ぶ新保さん(右から2番目)と赤坂さん



町婦人団体協議会による非常食（カレーライス）などの炊き出しを避難者に提供



自衛隊などが給水車を用意。冬の寒空の下での給水活動訓練



厚南会館内に避難する宮の森保育園児



ケガ人を想定した救護訓練。保健師などが迅速に応急処置



避難者が訓練用消火装置（水消火器）を使つての消火訓練



NTT東日本による「NTT災害伝言ダイヤル」講習会



スモークマシン（人体に無害な煙を発生させる装置）を使用しての煙体験



心肺蘇生（AED）について消防職員が説明

## 厚南会館で総合防災訓練を実施

地域住民や婦人団体、消防、消防団、警察、自衛隊、北海道などを交えた大規模な「厚真町総合防災訓練」が12月6日、厚南会館（対策本部および避難所）で行われ、総勢160人が参加しました。平成9年以来、14年ぶりに行われたこの訓練は、マグニチュード8.0、最大震度6強の大地震、更には最大波3.5mの津波が襲う設定。家屋の倒壊や住宅火災で死者が2人、ケガ人が22人、道路などに災害が発生し、上厚真、共和団地、鹿沼、厚和、浜厚真地区の住民に避難指示を発令、また、幌内地区のがけ崩れ、厚真・上厚真市街地で火災が発生したという想定で行われました。講評で宮坂町長が「多くの町民が参加してくれて心強く感じました。この訓練をきちんと避難計画に反映させたい」と話していました。

# 災害

明日起こるかもしれない

に備える



## 私の大切な家族



左から進治さん、小太郎、颯太郎くん、あゆみさん、えりなちゃん

こたろう  
小太郎 ♂ 5歳  
(犬・ミニチュアダックスフンド)  
上厚真 上田 進治 さん家族

『小太郎』は小さい頃、犬を飼うことが夢だった息子が学生時代に飼って育ててたんですけど、今は住宅事情で私に預けていったんです。もともと妻が犬を欲しがってたので、ちょうど良かったのかも」と進治さん。いつも一生懸命に世話をするのは奥さんだという。きかん坊の小太郎、会った瞬間に人生の後輩と判断すれば態度が大きくなりアニキぶる。なのでお孫さんの颯太郎くんは、追いかけてらるるが多いそう。『あまり散歩に連れて行かないので、運動不足とストレス解消に息子2人と男3人で自宅の庭に『ドックラン』を作ったんですよ。小太郎も最初は戸惑っていたんですが、すぐに慣れて大喜びで駆け回ってますね。よく吠えて『うるさいなあ〜』と思うこともあるけど、上田家にとって貴重なムードメーカーですよ』と笑った。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課企画調整グループまで ☎27-3179

## 本

## 私の出会った素敵な本

「雪花」

十和 / 著

本町 莉屋 美紅 さん

「この本は、切なくて美しいラブストーリーです。恋や友情、家族など様々なテーマが含まれています。結末はとても悲しいお話なんです」と莉屋さん。学級文庫で見つけたのが読みきっかけだった。何気なく読み始めたが、あまりの面白さにあっという間に読み上げたという。

「印象に残った場面は、主人公拓人が疎遠だった父親の死をきっかけに桜子と知り合うところ。兄弟として暮らしたけど、互いに徐々に惹かれ付き合ったり、衝撃的な事実もどんどん出てくるんです」と話す。

小さい頃から、マンガはまったく読まないという莉屋さん。好きなジャンルは小説。日ごろ、比較的退屈な時間を読書に費やすそうだ。

「本を読むことは暇つぶしになりますね。あと、精神的にイライラしている時なんかは、本の世界に入り込んでおかげで、ス〜ッと嫌なこと何もかも全部忘れてしまうことができるんです。そう、私のクラスには、本好きの友だちがたくさんいるんですよ」と笑顔を見せた。



# 厚真人

ひと

## 人

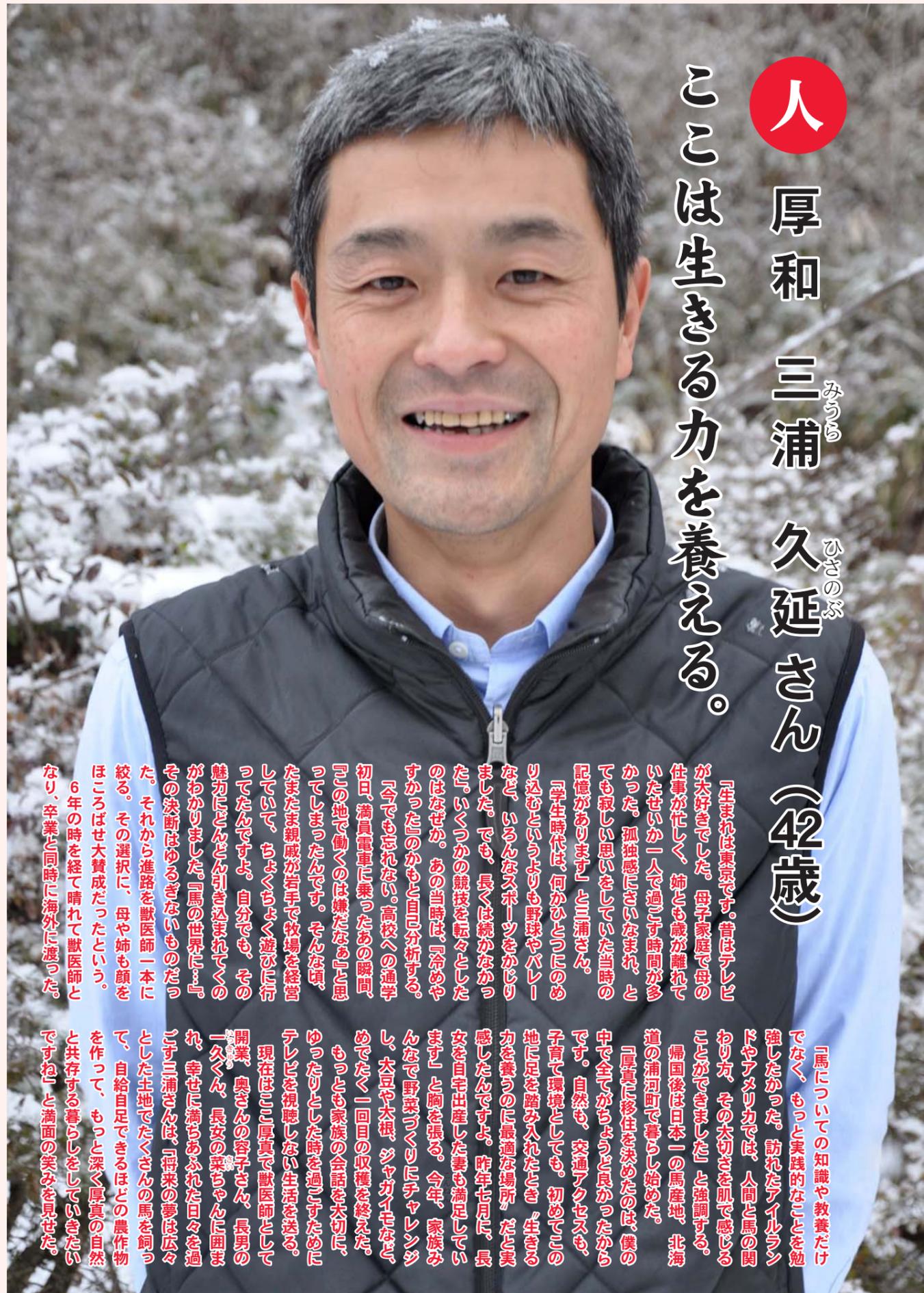
厚和

三浦

久延さん

(42歳)

ここは生きる力を養える。



「生まれは東京です。昔はテレビが大好きでした。母子家庭で母の仕事が忙しく、姉とも歳が離れていったせいか一人で過ごす時間が多かった。孤独感にさいなまれ、とても寂しい思いをしていた当時の記憶があります」と三浦さん。  
「学生時代は、何かひとつにのめり込むというよりも野球やバレーなど、いろんなスポーツをかじりました。でも、長くは続かなかった。いくつかの競技を転々としたのはなぜか。あの当時は、『冷めやすかった』のかもしれない分析する。『今でも忘れない。高校への通学初日、満員電車に乗ったあの瞬間、『この地で働くのは嫌だな』と思ってしまったんです。そんな頃、たまたま親戚が若手で牧場を経営していて、ちよくちよく遊びに行っていたんですよ。自分でも、その魅力にどんどん引き込まれてくのがわかりました。『馬の世界』。その決断はゆるぎないものだった。それから進路を獣医師一本に絞る。その選択に、母や姉も顔をほころばせ大賛成だったという。6年の時を経て晴れて獣医師となり、卒業と同時に海外に渡った。

「馬についての知識や教養だけでなく、もっと実践的なことを勉強したかった。訪れたイルランドやアメリカでは、人間と馬の関わり方、その大切さを肌で感じることでできました」と強調する。帰国後は日本一の馬産地、北海道の浦河町で暮らし始めた。「厚真に移住を決めたのは、僕の中で全てがちょうど良かったからです。自然も、交通アクセスも、子育て環境としても。初めてこの地に足を踏み入れたとき、生きる力を養うのに最適な場所、だと実感したんです。昨年七月に、長女を自宅出産した妻も満足しています」と胸を張る。今年、家族みんなで野菜づくりにチャレンジし、大豆や大根、ジャガイモなど、めでたく一回目の収穫を終えた。もっとも家族の会話を大切に、ゆったりとした時を過ごすためにテレビを視聴しない生活を送る。現在はここ厚真で獣医師として開業。奥さんの容子さん、長男の一久くん、長女の菜ちゃんに囲まれ、幸せに満ちあふれた日々を過ごす三浦さんは、「将来の夢は広々とした土地でたくさん馬を飼って、自給自足できるほどの農作物を作って、もっと深く厚真の自然と共存する暮らしをしていきたいですね」と満面の笑みを見せた。

# 人のうごき

12月1日～12月20日届出分

## マチの善意

(おこわり)  
上記は、窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています。



### 節分「豆まき」鬼は外!!

- 日時 2月3日(金) 10:30～11:30
- 場所 子育て支援センター
- 対象者 同センター利用対象者
- 定員 15組まで(要予約)
- 締切り 1月25日(水) 定員になり次第締切り
- 連絡先 子育て支援センター ☎27-2438
- ※当日『いきいきサポート』の方が来てくれます



12/22京町保育園「クリスマス会」

## ホッとひといき

先輩のジュニアの野球センスは凄まじい。6歳の少年が、おもちゃのバットで軽々と表町公園ステーションを越えてゆくから驚いてしまう。俗に言う表現だが、まるでピンポン玉のようだ。あの清原や松井の幼少時代、周囲の反応とはこんな感じだったのか。人の子ながら思わず甲子園、プロ野球と将来を期してしまうほどジュニアに聞けば、守備はあまり好きではないそうだ。でも、DH制のないセリーグに行く可能性があるのだから、それなりに練習した方が。...

# キッズ2月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報



月	火	水	木	金
		1 びよびよ広場	2 開放日	3 節分「豆拾い」要予約
6 開放日	7 開放日	8あそびの広場 『バタバタ変り絵』 ※前日までに予約してね!	9 保育園ホール開放 開放日	10 子育て講座 『バレンタインのお菓子』要予約
13 「Helloいびど!」 開放日	14 開放日	15 びよびよ広場	16「おはなしのびっ子」 開放日	17 開放日
20 開放日	21 開放日	22あそびの広場 『紙血のアーチひな』 ※前日までに予約してね!	23 開放日	24 開放日※午後玩具洗いのため休館
27 「Helloいびど!」 開放日	28 開放日	29 開放日	※水曜日の午後は、サークル活動日です。お母さん達の集まりの場にご利用下さい。(要予約)	

※京町保育園増築工事の関係で、一部変更になる場合があります。

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ!  
厚真町ホームページ <http://www.townatsumalg.jp/>  
→トップページ→教育・文化→子育て支援センター「ゆうゆう島」

※利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00

- ※『あそびの広場』 第2・4水曜日の午前中  
1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。
- ※『Helloいびど!』 開催日の午前中(メラニー先生が来てくれます)  
遊びながら英語に触れることができます。年齢に関係なくお越しを!
- ※『びよびよ広場』 第1・3水曜日の午前中  
0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。
- ※開放日には、お気軽に遊びに来てください。
- ※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、その他お問い合わせなどは☎27-2438(直通) 子育て支援センターへ!!



## みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328



# みんなの広場

子育て支援センターに遊びに来てください!

### 子育て講座『バレンタインお菓子作り』

日時 2月10日(金) 10:00～12:00

場所 総合ケアセンター「ゆくり」  
2階調理室

対象 同センター利用者

対象年齢 2歳～就学前まで

定員 10組まで(要予約)

持物 エプロン・三角きんやバンダナ・  
お手拭き

締切 2月3日(金) まで

### お父さんと一緒に「あそびの広場」

日時 2月26日(日) 10:00～12:15

場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」と児童会館ホール

対象 町内に在住の方ならどなたでも

内容 お父さんと一緒に体を使って楽しむ遊び、家族で遊べるゲーム

持物 汗ふきタオル・水やお茶・着替え・おにぎり・おしぼりなど

締切 2月16日(木) まで

お問い合わせ先 ☎27-2438(直通)

## 柔道大会団体戦の部で3位入賞



### 厚真柔道スポーツ少年団

厚真柔道スポーツ少年団(小関逸弥代表)が12月4日、苫小牧市総合体育館で行われた苫小牧民報杯第1回たるまえカップ柔道大会団体戦の部で、見事3位入賞を果たしました。大会には、幼児から中学生まで13チーム約150人が参加。今大会の勝因を小関代表は「子どもたちが持てる力を十分に発揮した結果。精神面のたくましさも光り粘り強い戦いをしてくれた。今後も勝ち負けだけではなく、思いやりの心を育みながら柔道を楽しんでもらいたい」と笑顔で話していました。

“キッズルーム”  
みんなでつくる  
さきげんなコーナー

HAPPY BIRTHDAY

1月生まれ

ママも、子どもも大満足!  
『笑顔』大歓迎の空間へ集合!  
ママ友同士で気軽に応募して!

### 笑顔募集中!

誕生日の記念に、お子さんのステキな笑顔で紙面を飾ってみませんか。締切りはお誕生月の前月20日ごろ。満4歳から満6歳までのお子さんの写真を募集します。どうぞ気軽にお電話ください。(締切厳守)

▶まちづくり推進課 広報担当 ☎27-3179



みらん  
藤田 望藍ちゃん 5  
H18. 1. 25 (表町)



ななみ  
龍崎 七海ちゃん 4  
H19. 1. 24 (本郷)



ゆら  
高橋 優空ちゃん 4  
H19. 1. 7 (表町)

## クイズ・ここどこ?

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に『図書カード』をプレゼントします。

問題 さて、ここは町内のどこでしょう?



- ▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。
- ▶しめ切り(当日消印有効) 1月30日(火)
- ▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120 厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)
- 【12月号の答え】 厚南中学校
- 【12月号の正解者】 応募者は10人で全員正解。抽選の結果当選者には後日賞品を発送します。



### 厚高インフォメーション



151

#### 地域キャンパス校・センター校の取り組み

本校は平成二〇年度より地域キャンパス校の指定を受け、今年度で四年目を迎えます。

取り組み内容としては、センター校の苫小牧東高校より国語・数学の教員が毎週本校に来て授業を行っています。その他に、苫小牧東高校と遠隔機器（双方の映像・音声配信）を使用しての授業、講演、研修、会議等の実施。部活動においても、練習試合を行うなど盛んな交流が行われています。

今年度、新たな取り組みとして十月二十七日（木）生徒会の交流を苫小牧東高校で行いました。始めは緊張気味であった本校生徒会代表も徐々に和み始め、活発な話し合いとなりました。話された内容は、「それぞれの学校の活動内容」「いじめ撲滅に向けた取り組み」「今後の交流」などで、その中で「次年度の学校祭を見学したいね」ということになり、今回の交流の幕を閉じました。次回は三月、苫小牧東高校の生徒会が本校を訪問して、交流の詳細の話し合いを行う予定です。今後、更に交流を深め活発な生徒会活動になることを期待します。本校から参加した生徒も「とても楽しかった。大変参考になった」と目を輝かせていました。



中央小 1年  
あらや こうよう  
荒谷 光洋くん（7）  
「消防車のタイヤを丸く描くのが難しかったよ。窓を上手に描けました。点数をつけるなら100点！」



中央小 1年  
ながおか ほのか  
長岡 穂花さん（7）  
「クレヨンを使って、大きな消防車を赤く塗るのが大変でした。窓の色や形はとってもお気に入り！」

#### わたしたちの作品

### ぼくの・わたしの クラスじまん

## ともだちっていいな



### その122 厚南中学校

紹介してくれたのは…

#### 厚南中学校3年生のみなさん

（書いてくれたのは）  
さいとう ちあき ますだ ともみ  
齊藤 智亜稀さん、増田 友美さん  
さとう れいな  
佐藤 玲緒奈さん



私たち厚南中学校3年生は、男子7人、女子11人、計18人のクラスです。

私たちの学級目標は、「cheerful・smile」信頼される優しい先輩」という目標です。これはクラスの雰囲気を作るということ、3年生として後輩から頼られる先輩になれるようにという意味です。そして、運動会や学校祭ではリーダーシップがとれる人、困っている人がいたらすぐに助けられる人、みんなを盛り上げられる人、それぞれみんなが目標に向かって、最高の行事にするために努力し、最高の思い出ができました。

また、最近は家庭学習の提出率が上がるなど受験に対する意識が高まってきたので、このまま気を抜かずにがんばっていきたいと思います。

18人で過ごせる時期が短いので、残りの時間を有意義なものにしたいです。

### 文芸あつま ◆短歌◆

舞い落ちる雪に歓声あげる子のはしゃぐ姿に安らぎており  
二年用当日日記を枕元に我が迎へたる一年目の新春  
（京町 木村百合子）

新機種の携帯操作ままならぬ利便を覚へづそのまま使へり  
（本町 飛谷 富夫）

（あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十六号』から抜粋）  
（新町 徳地 美登）

### わたしの知っている あつま

Vol. ⑨ 「冬のイベント」  
（平成23年1月23日撮影）



朝晩だけではなく、最近では昼間も寒くなり本格的な冬を迎えた厚真町。寒い季節ではあります。今年で五回目を迎える、「あつま国際雪上3本引き大会」（平成二十四年一月二十二日「日曜日」）が開催されるのはご存知でしょうか？今年も少しルールも変わり、昨年とはちよつと違ったところを楽しんでいただければと思います。今年も、町内外から強豪チームが多数参戦。チーム数も増え、今年の大会もこれまで以上に盛り上がること間違いなしでしょう！

会場内では、温かい食べ物も販売される予定です。ぜひ、なかなか大会には参加できないという町内のみなさんも、応援団として参加をお願いしたいと思います。他にも、毎年恒例のランタンまつりやスターフェスタ（平成二十四年二月三日「金曜日」）が開催される予定です。噂によると今年のランタンまつりでは、昨年を上回るような豪華なランタンになるとか、スターフェスタで打ち上げられる花火も、さらにパワーアップするとか…これは会場に行ってみなくちゃ、分かりませんね！！

とっても寒い冬ですが、ぜひイベント会場に足を運んでみてはいかがでしょうか♪

前川さとみ（厚真町商工会）

# ほけんの掲示板

## 2月



### 乳児健康診査

**とき** 1日(木)  
**受付** 対象者には個別に通知します。  
**ところ** 総合ケアセンターゆくり  
**対象** 前期：生後3～6カ月 (H23.8.10～11.1生まれ)  
後期：生後9～12カ月 (H23.2.10～5.1生まれ)  
**持ち物** 母子手帳、バスタオル  
※3～6カ月のお子さんは、アンケートとBCG問診票を押印の上、お持ちください。

### 離乳食講習会

**とき** 24日(金) 10:00～12:00頃  
**ところ** 総合ケアセンターゆくり  
**対象** H23.8.10～H23.11.1生まれ(3～6カ月)の乳児健診受診後の  
お子さん  
**持ち物** 母子手帳、筆記用具、エプロン、手ふきタオル  
**申し込み** 17日(金)までに町民福祉課健康推進グループへご連絡ください。

### 児童相談所巡回相談

**とき** 16日(木)  
※時間は人数が確定次第決定します。  
**ところ** 総合ケアセンターゆくり  
**対象** お子さんの発達や子育てについて、お悩みや相談がある方ならどなたでも相談できます。  
**申し込み** 6日(月)までに町民福祉課福祉グループへご連絡ください。  
**スタッフ** 室蘭児童相談所  
児童福祉司ほか  
\*個人情報・秘密は厳守いたします。

### 二種混合予防接種

**とき** 2日(木)～3日(金)  
※2日(木)午後は休診です。  
**ところ** あつまクリニック  
**受付** 接種希望当日に町民福祉課で受付を行ってください。  
**受付時間** 9:00～11:30、14:00～16:30です。  
**対象** 小学6年生で、8月に未接種の方  
**持ち物** 母子手帳、印鑑  
\*二種とは、ジフテリアと破傷風のワクチンを混合したものです。

### MR混合(麻しん・風しん)予防接種

**とき** 20日(月)～24日(金) ※23日(木)午後は休診です。  
**ところ** あつまクリニック  
**受付** 接種希望当日に町民福祉課で受付を行ってください。  
**受付時間** 9:00～11:30、14:00～16:30です。  
**対象** ①生後12カ月～24カ月までのお子さん  
②平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)  
③中学1年生(平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの方)  
④高校3年生(平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの方)  
※上記以外の方は町保健師にご相談ください。  
**持ち物** ①②の方…母子手帳、印鑑  
③④の方…母子手帳、予診票様式第三(保護者が同伴できない場合は、予診票様式第四《保護者が署名したもの》をご持参ください)

### 三種混合予防接種

**とき** 13日(月)～17日(金) ※16日(木)午後は休診です。  
**ところ** あつまクリニック  
**受付** 接種希望当日に町民福祉課で受付を行ってください。  
**受付時間** 9:00～11:30、14:00～16:30です。  
**対象** ①1期初回～初めての 경우에는、生後3カ月～12カ月までが標準的な接種年齢となります。1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を超えている場合は48カ月までにできるだけ終了してください。  
②1期追加～1期初回接種(3回)終了後、12カ月～18カ月までに接種してください。  
※上記以外の方は町保健師にご相談ください。  
**持ち物** 母子手帳、印鑑

寒さゆえ外出が億劫になったり、いまひとつ行動的になれずゴロゴロしていると、あっという間に冬太り、なんてことになりかねません。今回はあぶら(油脂)を減らしてカロリーダウンできるコツを紹介します。

同じ料理でも、素材の選び方は調理方法でカロリーに差が出ます。例えば鶏肉や豚肉の場合、部位によってかなりの違いがあります。料理の工夫で美味しくヘルシー料理を作って冬太りを解消、予防しましょう。

### ～肉の部位を選びましょう～

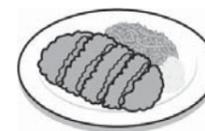
鶏肉100gの場合 	もも(皮つき)	200kcal
	もも(皮なし)	116kcal
	むね(皮つき)	191kcal
	むね(皮なし)	108kcal
	ささみ	105kcal

豚肉100gの場合 	バラ肉	386kcal
	ロース	263kcal
	ロース(脂身なし)	202kcal
	もも	183kcal
	ヒレ	115kcal

### ～素材の脂を落とす、油を控える調理法を活用しましょう～

#### ●豚肉ロース(100gの場合)

揚げる(352kcal)    焼く(266kcal)    網焼き(230kcal)    茹でる(202kcal)



揚げ物：衣はできるだけ薄くつける、素揚げにする、大きいままで揚げるなどで油の吸収量が抑えられます。  
炒め物：フッ素樹脂加工のフライパンを利用したり、油はペーパーなどで薄く引き手早く炒める。水を少々加えて、蒸し焼きにするのもおすすめです。  
サラダ：ノンオイルドレッシングやぼん酢など、油が含まれない調味料がおすすめです。

### ～油で揚げた食品は油抜きしましょう～

油揚げや、がんもどき、さつま揚げなど、油で揚げた食品はそのまま調理するよりも熱湯をかけたり、茹でたりして油抜きすると表面や内部に浸透した油が溶けだし、出来上がりのエネルギーを減らすことができます。

油揚げ1枚(78kcal)    熱湯をかける(69kcal)    ゆでる(58kcal)

### 2月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話番号(0144)	(診察時間) 9:00～17:00 当番医は変更になることがあります。新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。(お知らせ)『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。ホームページアドレス http://www.qq.pref.hokkaido.jp 電話 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
5日(日)	内科系	吉田内科医院	川谷町4-8-25	73-6233	
	外科系	メモリアル整形外科	花園町4-2-5	74-2111	
11日(土)	内科系	方安庵青雲町クリニック	青雲町2-12-16	61-5555	
	外科系	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111	
12日(日)	内科系	合田内科小児科医院	音羽町2-17-3	33-9208	
	外科系	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000	
19日(日)	内科系	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151	
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221	
26日(日)	内科系	苫小牧澄川病院	澄川町7-9-18	67-3111	
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000	

### 苫小牧市夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	(住所) 苫小牧市旭町2-9-2 (電話番号) 0144-35-0001 ※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
月曜日～金曜日	19:00～翌朝7:00	
土曜日	14:00～翌朝7:00	
日曜日	9:00～翌朝7:00	
年末年始(12/31～1/3)	9:00～翌朝7:00	

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。  
http://www.toma-med.or.jp/  
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。  
携帯電話用 URL http://www.toma-med.or.jp/phone/  
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承願います。

募集

へき地保育所の園児を募集します

町では、4月から宮の森、さくら保育園に入園を希望する園児を募集します。

なお、みつば保育園は平成23年度で閉園しますので、園児の募集はしません。

■対象児童

- ・宮の森／満1歳6カ月以上で離乳食を完了しているお子さん
・さくら／原則として満3歳以上のお子さん

■保育時間

・宮の森／保護者の送迎時刻を考慮し、延長を含めた閉所時刻をこれまでより30分延長します。平日の保育時間は、こども園と同じです。

・さくら／平日は午前8時～午後5時(これまでどおりです)

■保育料

こども園と同様に、子育て支援による保育料還元制度により、月額保育料の1割を子育て支援金券の交付の方法により還元する予定です。

■提出書類

入園申請書(役場町民福祉課子育て支援グループと役場上厚真支所にあります)、印鑑

■申し込み先・問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グ

ループ(☎26-7872)

■その他 宮の森保育園を申し込める方は、郵便番号が059-1700の区域に居住の方になります。

申請

入札参加資格審査申請書の受付をします

平成24年度に町が発注する建設工事等の入札に参加される方は、次により入札参加資格審査申請書を提出してください。(23年度未申請者のみ)

また、建設業以外の物品等販売指名を希望する町内業者の方は、入札参加資格審査申請書の提出を特に必要としません。

■提出書類

入札参加資格審査申請書および工事または物件の販売等の実績など、指定の添付書類。

■有効期限

平成24年度の1年間

■受付期間

2月1日(水)～2月29日(水)(土、日曜日、祝日を除きます)

■受付窓口・問い合わせ先

役場総務課財政グループ(☎27-2481)

確定申告

確定申告の受付が始まります

平成23年分の所得税(住民税お

よび個人事業税)の確定申告の受付が2月16日(木)から3月15日(木)までです。

確定申告書は、「前年の申告書控え」や「確定申告の手引き」などを参考に、ご自分で作成し提出してください。作成した確定申告書は、郵送等により提出できます。

なお、確定申告書は、国税庁ホームページ(https://www.nta.go.jp)の「確定申告書作成コーナー」で簡単に作成することができます。

作成した確定申告書は、そのままe-Tax(※)で送信することができ、印刷して郵送等により提出することもできます。

また、平成22年分の確定申告書

を「自宅」で国税庁ホームページ「確定申告書作成コーナー」を利用して提出された方、または苦小牧駅前プラザ「e-gao」7階などの申告会場でパソコンを利用して提出された方のうち、利用者識別番号や予定納税額等をお知らせする必要があります方につきましては、1月下旬に「確定申告のお知らせ」を送付いたしますので、こちらをご覧ください。

苦小牧駅前プラザ「e-gao」7階などの申告会場にお越しの際は、「前年の申告書控え」、「確定申告に必要な書類」および「印鑑」をご持参ください。「確定申告のお知らせ」が届いている方は、そ

調査

平成24年経済センサス活動調査を実施します

統計法に基づき「平成24年経済センサス―活動調査」が、全国すべての企業・事業所を対象に実施されます。

平成24年1月下旬までに調査員が調査票をお届けしますので、すべての調査事項を記入していただき、2月1日以降に調査員から指定された方法で提出をお願いします。

経済の国勢調査ですので、ご協力のほどよろしく願います。

のお知らせも持参してください。

なお、駐車場が大変混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。

■申告会場

苦小牧駅前プラザ「e-gao」7階

■期間

1月25日(水)～3月15日(木)(期間中の土・日曜日、祝日を除く)

■申告相談時間

午前9時～午後5時(受付終了 午後4時30分)

(※)e-Taxの利用にあたっては、電子証明書が付与された住民基本台帳カード(ICカード)及びICカードリーダーライターが必要です。

募集

24年度の「学童保育」を希望する児童を募集

小学校1年生から4年生までのお子さん及び健全育成上指導を要すると、町長が特に認める小学校5・6年生のお子さんで、学童保育を希望される保護者の方は、申し込みをしてください。

なお、23年度在籍しているお子さんも申し込みが必要です。

■募集期間

1月10日(火)～2月3日(金)

■学童保育時間

月～金曜日 午後12時30分～午後6時30分

■問い合わせ先

役場まちづくり推進課企画調整グループ(☎27-3179)



お知らせ

厚真町森林整備計画が変ります

森林法の改正に伴い、厚真町森

林整備計画の内容が平成24年4月から変わります。

現在、計画を作成中ですが、森林によつては伐採や植え付けに新たな基準が設けられますので、町民の皆さま、特に森林所有者の方でご意見やご要望、質問等のある方は役場産業経済課までご連絡ください。

ご意見は、2月中旬まで受け付ける予定です。(締め切り期日は改めて連絡します)

■問い合わせ先

役場産業経済課商工観光林業水産グループ(☎27-2486)

募集

「民間賃貸住宅の借上げ制度」をご利用ください

北海道では、東日本大震災により岩手県、宮城県、福島県から本道へ避難している方および避難を予定している方を対象に、民間賃貸住宅を借上げ、応急仮設住宅として提供する「民間賃貸住宅の借上げ制度」を実施しています。

町としては、入居希望者の相談対応および申込書の受付を行っていますので、ご利用を希望される方はお気軽にお問い合わせください。

なお、このことについて、北海道ホームページ(https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sun/kariage.htm)でも公表しております。

■募集期間

平成24年1月31日(火)まで

■対象者

東日本大震災時に岩手県、宮城県および福島県に居住していた方

■入居期間

入居日から「2年間」または「平成25年3月31日まで」のいずれか早い日までとします。

■問い合わせ先

役場まちづくり推進課事業推進グループ(☎27-3179)

花火と干支文字の共演！スターフェスタ2012inあつま

町商工会青年部(大山一樹部長)では、スターフェスタ2012inあつま「第13回冬の花火大会・『辰』の干支文字焼き」を開催します。

■日時 2月3日(金) 午後6時30分から(予定)
■場所 こぶしの湯あつま
■内容 ・厄払い豆まき、もちまき

年男年女、厄年の方に豆・もちをまいていただき、鬼(疾病や災難)退治してもらいます。一般の方には、豆・もちひろいをしていただきます。

・干支文字焼き
こぶしの湯から見える雪原に2012年の干支「辰」の文字焼きをします。直線距離270mで、花火と干支文字焼きの共演が楽しめます。

・打ち上げ花火
干支文字完成後に真っ白い雪原を舞台にした音と光の演出で、約2000発の花火を打ち上げます。

・樽酒、ココアの提供
大人の方には樽酒を、また、お子様などにはココアを無料提供いたします。



▲昨年のスターフェスタ

詳細につきましては、1月下旬の新聞折り込みチラシをご覧ください。天候などにより時間に変更になる場合があります。ご了承ください。

■問い合わせ先 厚真町商工会(☎27-2456)

今年も両イベントが隣接した会場で開催!!

夢と希望の灯り2012光のページェント第12回ランタン祭り

ランタン祭り実行委員会では、町民の皆さんや団体などのご支援をいただき「夢と希望の灯り2012光のページェント第12回ランタン祭り」を開催します。

今年も会場が、本郷マナビィハウスからこぶしの湯あつま付近にかけての開催となっています。約5,000個のランタンが織りなす心癒される灯をお楽しみください。

また、「ランタン焼き」などの協賛事業も予定していますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

■日時 2月3日(金) 午後4時45分開会式
■場所 本郷マナビィハウスからこぶしの湯あつま付近
■お願い 作製目標を5,000個としています。皆様のご協力をお願いします。



▶昨年のランタン祭り

■問い合わせ先 第12回ランタン祭り実行委員会 実行委員長 金本圭二さん(本郷・☎27-3611)

2月の運転免許証更新時講習の日程

苦小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。
◆午前10時30分：1日(水)、3日(金)、6日(月)、8日(水)、開講 15日(水)、16日(木)、20日(月)、23日(木)、24日(金)、28日(火)、29日(水)
◆午後1時30分開講：9日(木)、17日(金)
◆午後3時30分開講：10日(金)、22日(水)
※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。
※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。
■問い合わせ先 (社)苦小牧地区交通安全協会(☎0144-33-1458)



・土曜日、学校休業日
午前8時30分～午後6時30分
■学童保育負担金 1人/1カ月(1000円)
■受付場所 印鑑を持参して、役場町民福祉課子育て支援グループまたは役場上厚真支所で申し込みください。
■問い合わせ先 役場町民福祉課子育て支援グループ(☎26-7872)

松本 <sup>ゆうだい</sup> 侑大くん  
 H 20・9・9 生  
 父—宏 和さん  
 母—佐智子さん  
 (新 町)



●—わが家のアイドルはこんな子です。—●

「はずかしがり屋さんかな？最近アニメの『カーズ』と動物図鑑にハマってます。マカロニサラダが大好きでおかわりは当たり前。家事で忙しいそうだと『ママ手伝うよ』と頼もしい一言が！」



上田 <sup>そうたろう</sup> 颯太郎くん  
 H 20・9・16 生  
 父—大 輔さん  
 母—あゆみさん  
 (上厚真)



まちのアイドル 345

●—わが家のアイドルはこんな子です。—●

「とっても明るくてお調子者。いつも歌って踊ってますね。『仮面ライダー』などの戦隊者がお気に入り。イチゴが大好きなんです。妹の面倒をちゃんと見てくれる優しいお兄ちゃんですよ！」

■今月の表紙

「12月1日、上厚真小学校でNHK室蘭放送局による出前授業が5年生を対象に行われました。児童たちは実際にカメラなどの放送用機材を使って友だちを撮影。その映像が、テレビに映るまでの流れを体験していました。」

■今月の内容

町長・議長年頭のあいさつ	町総合防災訓練の実施
平成23年第4回定例議会	I LOVE 厚真人
特集“本のある生活のススメ”	みんなの広場
平成24年度認定こども園	まなびや
“こども園つみき”園児募集	健康情報・ほけんの掲示板
農の里あつま2011	情報ひろば
まちの話題	

2012年1月

NO. 713

12月20日現在の人口  
**4,852人(前月比+3)**  
 男 2,381人 / 女 2,471人  
 世帯数 2,051(前月比+6)